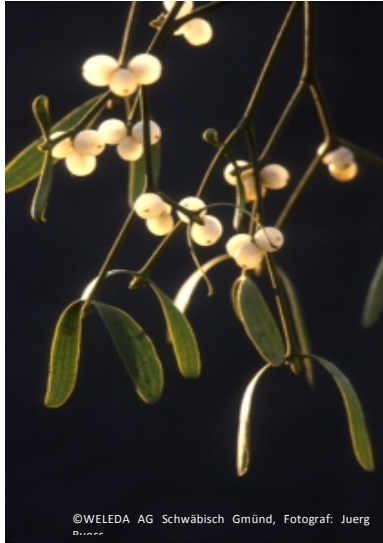


## 第3回アントロポソフィー薬学における製薬法と薬剤

\*\*\*リズム法、ヤドリギ製剤、臓器製剤、ドロン製剤\*\*\*



日 時： 2016年11月12日(土) 13時30分～16時30分

場 所： 大阪市男女共同参画センター南部館 クレオ大阪南 研修室

参加費： 一般3500円・会員3000円・学生1000円・当日500円増

定 員： 30名

対 象： 看護師、医師、薬剤師、  
アントロポソフィーを学ぶ芸術療法士及び身体療法士

講 師： 吉田秀美さん

アントロポソフィーに基づく日本薬剤師協会会員、薬膳、ハーブ・アロマ・  
バッチフラワー講師、日本の薬草を使ってアントロポソフィー製剤学に基づ  
く薬の研究に専念。

矢部五十世さん

アントロポソフィーに基づく日本薬剤師協会会員、  
ドイツアントロポソフィー薬剤師会会員

**内 容：** アントロポソフィー薬剤は深い叡智に基づき特別な方法で製造されます。第3回目の今回の講座では製造過程の  
リズム法について、製剤はヤドリギ製剤・臓器製剤・ドロン製剤をご紹介します。リズム法は、朝と夕、温と冷、動と静  
のリズムを通して薬剤を生命化します。ヤドリギ製剤は、ルドルフ・シュタイナーがヤドリギの生態から癌との関連を指  
摘し、彼の示唆に基づき製造されています。動物の臓器を用いる臓器製剤は人間のエーテル体に働きかけますが、どのよ  
うな臓器が使われるのか、またドロン製剤とはどのようなものかを、今回はカルディオドロンを例に取りお話しいたしま  
す。

申し込み： FAX: 050-3415-3190 Eメール: [anthro-nr@rel-int.jp.org](mailto:anthro-nr@rel-int.jp.org)

受付後に確認メールを送ります。その後参加費をお振り込みください。尚、一旦振り込まれた参加費は返金できませんのでご了承ください。  
(代理出席は可能です) 《振込先》 アントロポソフィー看護を学ぶ看護職の会 ゆうちょ銀行 00110-9-726537

※ お申し込みの際には、必ず専門職名と関西会場と記載してください。

※ 振り込み用紙の半券(領収書)が、入場券の代わりになりますので当日お持ちください。



～～アクセス～～

〒547-0026 大阪市平野区喜連西6-2-33

喜連瓜破駅(きれうりわり) (地下鉄谷町線) 1号出口から北西へ徒歩約5分

喜連西池前(きれにしいけまえ)から徒歩約3分

地下鉄長居(御堂筋線)から 4号系統「出戸パスターミナル」行き  
あべの橋から 5号系統「三宅中」行き